

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	公益財団法人仙台市医療センター		
事業所の名称	公益財団法人仙台市医療センター仙台オープン病院		
事業所の所在地	仙台市宮城野区鶴ヶ谷5-22-1		
主たる事業	医療業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	別紙の基本方針の通り		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	4,577 t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	0.1412
		目標年度	2022 年度	目標排出量	4,393 t-CO <sub>2</sub>	目標原単位
			削減率	4.02 %	削減率	4.03 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	4,709 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.1453
			削減率	-2.89 %	削減率	-2.91 %
	排出量等の増減理由	新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として空調や換気を強化し、また例年以上の夏期の猛暑・冬期の厳寒により空調で使用するエネルギーが増加したため、温室効果ガスの排出量が増加しました。				
	第2年度	2021 年度	排出量	4,434 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.1368
			削減率	3.12 %	削減率	3.11 %
	排出量等の増減理由	新型コロナウイルスの感染拡大防止として空調や換気を強化していましたが、その運用を見直したことでエネルギー使用量が少なくなりました。また、基準年度(2019年度)と比較して夏期の気温が穏やかであり空調のエネルギー使用量が少なかったため温室効果ガスの排出量が削減されました。				
	第3年度	2022 年度	排出量	4,266 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.1316
			削減率	6.79 %	削減率	6.79 %
排出量等の増減理由	新型コロナウイルスの感染拡大防止として空調や換気を強化していましたが、その運用を2022年度に更に見直しを行いました。またA棟およびB棟の照明器具のLED化を進めておりエネルギー使用量が少なくなったため、温室効果ガスの排出量が削減されました。					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	86 %	目標年度	91 %
	第1年度	86 %	実施状況の説明等	計画書に記載した通りの対策が概ね実施できている。
	第2年度	86 %	実施状況の説明等	計画書に記載した通りの対策が概ね実施できている。
	第3年度	86 %	実施状況の説明等	計画書に記載した通りの対策が概ね実施できている。

様式第2号別紙1

選 択 対 策 の 実 施 状 況	項目		実施状況
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見)		実施済
	ボイラーの運転効率管理		実施済
	ボイラーの給水及びブローの管理		実施済
	外気冷房		実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理		実施済
	熱源設備 冷却水の水質管理		実施済
	冷温水ポンプの回転数制御、自動流量制御		実施済
	ポンプ、給水系統の保安全管理		実施済
	ファン、ブロワ、給気系統の保安全管理		実施済
	変圧器の負荷率管理		実施済
	デマンド管理		実施済
	窓の断熱性向上		実施済
燃費性能の良い車両の計画的導入		実施済	
そ の 他 の 対 策 の 実 施 状 況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	院内エレベーターの一部夜間間引き運転の実施	実施済
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	院内照明の間引きを実施	実施済
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	新C棟をLED照明にした	実施済
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	新C棟のポンプをインバータ等の省エネ機器を導入した	実施済
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	B棟の水冷式エアコンを高効率の良い機器に更新した	実施済
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	省エネルギーの取り組みをPRする院内掲示	実施済